



# ひがし 議会だより

No.41  
2020.4.17

発行編集：日之影町議会報編集委員会

就農60年！笑顔で届けた新鮮野菜（甲斐 治さん夫婦）〈末市集落〉

令和2年度一般会計予算・・・P2  
委員長報告・同意・・・P3  
一般質問・・・・・・・・・・P6～P7  
議会報告会・意見交換会・・・P8

## 3月定例議会

令和2年第1回定例会は、2月28日に開会し同意1件、諮問1件、議案18件を審議し、原案の通り可決した。一般質問には、4名が登壇し、緊急質問に1名が町長に質問、3月19日に閉会した。

令和2年度  
一般会計予算

# 大型建設事業で15.6%の増額

【歳出の主なもの】

庁舎建設事業費  
14億8600万円



農林業費  
6億6735万円



民生・福祉費  
8億6044万円



総額  
65億1400万円

土木費  
4億7134万円



教育費  
3億741万円



### ■病院事業・特別会計事業予算

事業名	総額	事業名	総額
国保病院事業	6億4150万円	国民健康保険事業	6億6838万円
簡易水道事業	6679万円	奨学資金事業	1327万円
農業集落排水事業	1608万円	介護保険事業	7億1304万円
後期高齢者医療	6031万円	総合計	21億7937万円

# 総括質疑

## ■総務文教常任委員会



【乳児学級(ベビーマッサージの様子)】

### 1、行財政運営について

【問】令和2年度の当初予算は、経済的・固定的な財政需要の増加が見込まれる中、財政運営はさらに厳しくなることが予想されるが、所見を伺う

【町長】基本的な考えとして、メリハリのある予算、経費節減、町民のニーズに答えるとした質の高い予算編成となっているが、来年度も大型事業の継続であることから、依然厳しいものである。

### 2、子育て支援について

【問】乳幼児家庭全戸訪問、延長保育等、妊娠期から子育て期までの切れ目ないワンストップの相談窓口の事業展開について伺う

【町長】平成30年4月1日に、子育て世代包括センターが相談窓口として設置され、妊娠、出産、子育ての支援プランの策定を行い、必要に応じて関係機関と連携し、支援をする。

### 3、病院経営について

【問】地域医療構想における郡内公立病院の経営統合・再編を図るための議論が始まり、専門業者が解決策を検討し、素案が秋に示される。本町としての病院経営のあり方を伺う

【町長】昨年より、4回の検討グループ会議、2回の公立病院部会があり、経営統合に向けての協議を行った。また、先進地への視察も行われて、統合の形態、事務体制、負担の割合など研修したが、入院機能を維持した病院が必要であると考える。三町の協議が順調に進めば、令和5年末で作業が終わり、令和6年度から新体制になる予定である。

4、高齢者に必要なコミュニティバスを含む公共交通体制の充実について

【問】総合的な運行改善に向けた取り組みを伺う

【町長】高齢者の免許返納の増加、交通弱者、買い物支援等、総合的に捉えた地域交通の在り方について、検討委員会の開催、利用者アンケートを行い、ダイヤ改正等交通体系を確立する。

## ■経済建設常任委員会



【五ヶ瀬川に生息し、鮎の遡上を脅かす有害鳥獣カワウ】

### 1、移住定住の促進について

【問】既存の移住支援策に加え、本町独自の更なる取り組みについて伺う

【町長】移住奨励金やリフォーム助成金など、様々な取組みを行なっている。本年は中央地区で空き家を活用し、お試し滞在事業を行う予定である。

### 2、「関係人口」の創出について

【問】「関係人口」の創出について、具体的な施策を伺う

【町長】本町の地域と多様に関わる方々の人口推移は約30万人。今後、その様な方々へ移住や定住の提案を進めるとともに、ふるさと納税への

誘導も進めていく。

### 3、商工業の振興について

【問】企業誘致活動の取り組みと新規起業家への事業継続の支援について伺う

【町長】県にも相談しながら企業の誘致活動を平成23年以降行なっている。IT関連企業誘致も提案し活動を行っているが、未だ結果を見出せていない。今後、条例の見直しも視野にいれ、町内企業でも利用しやすい様に、前向きに検討していきたい。

4、有害鳥獣対策について

【問】五ヶ瀬川の川鵜の被害対策について伺う

【町長】有害獣防止計画に沿って取り組みを行なっているが、近年増加傾向にあるカワウ対策に関しては、近隣市町村や各漁協とも連携し、専門業者に委託する計画である。

### 5、地域資源ブランドを活かした観光・交流の拡大について

【問】道の駅と観光協会を拠点とした観光に対する重点施策を伺う

【町長】看板の設置や森の案内人の再編、マインドフルネスも取り入れ、青雲橋や温泉駅が観光拠点となるように、今後も情報発信も含め森林セラピーを核とした取り組みを進めていく。

# 予算審査特別委員会委員長報告

委員長 小川 輝 久

令和2年度一般会計予算は、前年度比15・6%増の65億1400万円で編成され、新庁舎建設、防災情報システム関連などの大型事業を除くと、46億2100万円となり、前年度の新庁舎建設事業を除いた予算とほぼ同額の予算編成で、依存財源に頼らざるを得ない本町においては、厳しい財政運営が続いている。

今後、新庁舎建設の起債を含めた元利償還については、令和10年をピークに約8億円の償還、経常収支比率が95%に達する見込みで、少子高齢化、人口減少が進む中、交付税措置が減少した財政シミュレーションが重要であり、併せて公債費負担比率の動向を注視すべきである。

多様な町民のニーズや高齢者福祉に寄り添うためにも、委託料の精査と成果の分析、そして町有林等の適正管理に務め、財源確保に努めることが肝要である。

次に、地域医療構想における公立病院のあり方及び役割については、町民、患者に寄り添った医療を目指すことを最重要課題ととらえ、町民の不安を招くことのないよう、議論を積み重ねながら、情報を共有していくことが重要である。更には、委託料

が先行している状況であるが、本町においては、福祉施設が隣接している立地条件も活かし、町民に不利益が生じないよう全課横断的に取り組むことが必要である。我々議会も行政、町民と一体となり、本町の社会福祉の向上と持続可能な町づくりに努めてまいります。

以上、令和2年度一般会計予算並びに特別会計8議案については、本会議において可決すべきものと決定いたしました。



【昨年、日本消防協会から寄贈された消防指令車】

## 同意一件



・固定資産評価審査委員会委員に平田武利氏を再任  
【任期】  
(令和2年3月より3年間)

## 諮問一件



・人権擁護委員に中内泰男氏を再任  
【任期】  
(令和2年7月より3年間)

## 条例改正

・日之影町営住宅管理条例の一部を改正する条例  
(主な改正内容は、連帯保証人が負う家賃等の保証債務の上限の設定、敷金の債務充当についての規定の明文化、不正入居者への請求に用いる利率の改正)

## 表彰



甲斐徳仁議長が、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受けました。これは、町村議会議長として7年以上在職し、地方自治進展のための長年の功労が高く評価されたものです。県内では1名の受章となりました。

# 所管事務調査報告

## ■総務文教常任委員会

【実施期日】令和2年2月10日

【調査事項】町営住宅の現状と対策

① 町営住宅の老朽化対策

② 長期的な活用（営繕等）

③ 町営住宅の整備（建て替え含む）

・新日之影公営住宅、管理戸数10戸、入居7戸、空き家3戸

・見立一般住宅・管理戸数6戸、入居2戸、空き家4戸、

・鹿川一般住宅、管理戸数6戸、入居3戸、空き家3戸

・八戸公営住宅、管理戸数26戸、入居20戸、空き家4戸以上の48戸

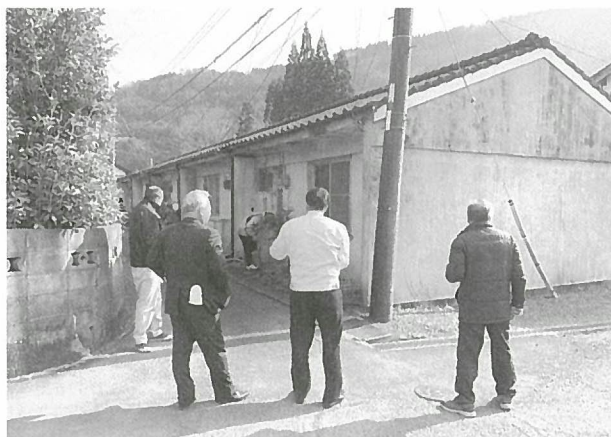
数を調査した。

総合意見として、調査した4ヶ所すべてが借地である。築年数を見ても老朽化が進んでおり、今後の課題として借地料と併せて営繕費など多額な事業費があると思われる。

町営住宅全体の入居率は94・5%で、子育て世帯、高齢者世帯等のニーズが高いことから、今後も住宅の整備や確保に取り組み、借地の買い取り等を計画的に進める必要がある。さらには、民間等を活用した住宅

備についで

建設への支援策を講じることが、財政面から見ても必要であると思われる。



【八戸下公営住宅】

## ■経済建設常任委員会

【期 日】令和2年2月7日（金）

【場 所】旧深角駅

【調査内容】旧深角駅の活用及び整備についで

今回、標記の件にて要望が提出されたのを受け、地域住民の旧深角駅への愛着と本町の貴重な観光資源であることから調査を行った。

平成17年台風14号災害により廃線となったTR高千穂鉄道の整理の為に「宮崎県高千穂鉄道施設整理基金条例」が平成20年12月28日に施行された。基金については県及び沿線自治体が出資し、その期限が令和2年度終了する。設置の主な目的としては「トンネル坑口の封鎖」、「不要施設の撤去」が示され、本町としても深角鉄橋の解体に向けた設計予算を可決した。解体に向けては1億円以上の予算が必要であり、この機会を逸すると後世に大きな負担を残すことになると思われる。

駅舎構内については「森林公園化」の構想により、地元ボランティアによる除草を含め適度な伐採により整備され地元住民の熱い気持ちを感じられる。今年度は森林環境、自然環境の授業及びイベントが計画されて

いるとのことであり、ソフト・ハード面による支援が必要不可欠である。そのためには地元と行政のタイムリーな会議が必要と考える。

さらには、「高千穂鉄道公園化構想」により、旧深角駅までの乗り入れ計画も打診されていることであり今後注視する所でもある。



【桜が満開となった旧深角駅】

## 町営住宅の今後の対応は

**町長** 調査を行い、町営住宅のあり方を検討する



信 英員 藤 議 工

**問** 本町の町営住宅管理戸数は200戸である。昭和56年以前に建築された木造住宅は、耐用年数を経過し、建て替えや用途廃止を検討する必要があるが、今後の対応を問う。

**町長** 財政的な面から早急な建て替えなどの対策は厳しいところではあるが、今後入居者に対する意向も取り入れながら、町営住宅の在り方を検討したいと考えている。

**問** 町営住宅の敷地の多くは町有地ではなく借地である。年間145万円の借地料が発生していることについて、見解を問う

**町長** 借地の解消も重要な課題であり、土地の購入や返還など検討し、地主との協議を進めていく。

**問** 独身寮には長年入居者もおらず、営繕もされていない状況である。耐用年数は15年であるが、計画では用途廃止となっており、今後の対応を問う。

**町長** 中央地区の方の声も多く伺っているところであり、耐用年数はあるが、中央地区活性化協議会の意見も参考にしながら今後検討していく。



【鹿川公営住宅】

## 中山間地制度と棚田法との運用は

**町長** 加算措置等を有効に活用する



明 輝員 水 議 一

**問** 第五期中山間地域等直接支払制度の変更点と棚田地域振興法との関連は

**町長** 主な変更点は、農業生産活動等の継続ができなくなった場合の遡及返還の対象農用地が、協定農用地全体から当該農用地にのみ緩和とされることや農業生産活動の継続に向けた加算措置の新設と拡充に加え、棚田地域振興活動加算が新設される。

**問** 本町におけるスマート農業の推進は

**町長** 現在、遠隔による分曉監視システムや発情発見装置等の導入、水稲防除にドローン導入への支援をしている。今後も、水田畦畔等を除草するリモコン式自動草刈り機や高齢者、女性等の就労をサポートする農業用アシストスーツの実証、ドローン活用の多様化等、関係機関と連

携しながら検討していく。

**問** 和牛繁殖農家における堆肥処理の対策はできないか

**町長** 現在、町単独の畜舎等整備事業や国庫事業の有効活用により支援している。現在、直面している堆肥処理問題については、JA高千穂地区において、営農振興中期3か年計画に家畜排泄物処理の対策の検討が記載されている。生産者やJA等との協議を見守り、行政としても動向を注視していきたい。



【初春の棚田と里山の風景】

# 地域づくりについて一歩進んだ取り組みは

**町長** 期待に応えられるように対応していく



高 英 嗣  
館 議 員

**問** 町の発行する証明書関係の庁舎以外での発行に対する進捗状況について伺う

**町長** 郵便局での証明書発行について、五ヶ瀬町の鞍岡郵便局での実施状況を踏まえて、証明書交付機の導入、手数料、不正交付防止対策を検討しており今後も近隣市町村の動向を見ながら、庁舎移転後の町民の利便性向上に向け、八戸・日之影郵便局で実施できるかさらに検討を進めていく。また、コンビニエンスストアでの証明書の発行については、システム改修費や維持管理費に多額の費用を要するために、マイナンバーカードの普及推進を図りながら、引き続き今後の課題とさせていただきます。

**問** 農作業の軽減や省力化に向けた取り組みについて伺う

**町長** 本町における現在の取り組みは畜産分野での、遠隔による分娩監視システムや発情発見装置等の導入、水稲防除におけるドローン導入への支援をしているところである。今後、ICT等を活用したスマート農業の取り組みは必要不可欠である。水田畦畔等を除草するリモコン式自動草刈機、高齢者、女性等の就労をサポートする農業用アシストスーツの実証など、本町の実情にあった形でのスマート化が図れるよう、国県事業を有効に活用し導入に向けた検討を進めていく。

水田畦畔等を除草するリモコン式自動草刈機、高齢者、女性等の就労をサポートする農業用アシストスーツの実証など、本町の実情にあった形でのスマート化が図れるよう、国県事業を有効に活用し導入に向けた検討を進めていく。



【日之影郵便局】

# 商工業事業所の人手不足対策は

**町長** 今後も事業者からのニーズも伺いながら支援していく



小 川 輝 久  
議 員

**問** 商工業の中でも特に建設業の人手不足は深刻である。自然災害等による復旧事業も危惧されるが、対策は

**町長** 人手不足は全国的な課題となっており、特に運送業、製造業、建設業といった業種に、顕著に表れている。県の「建設産業若者入職者確保・定着支援事業」等を活用し、町での中小企業退職共済掛金等補助金を交付して、雇用環境の改善を図っていく

**問** 町内事業所に職を求める人に対して、住む所の確保も含めて、現存している仮設住宅の払い下げによる安価な利用提供での求人への考えはできないか

**町長** 県外からのU・I・Jターン希望者また移住などによる就業者に対し、住宅の確保は重要である。

町営住宅や、空き家、仮設住宅等の活用も含めて今後検討したい

**問** 町内建築従業員を対象とした二級建築士資格取得に対する助成制度は一考できないか

**町長** いかなる事業においても、免許、資格は事業を行ううえで、必要不可欠となっており、町としても重要な課題であると認識している。有資格者の有無が業績にも影響しており、二級建築士のみならず、資格取得に対しては今後、研究、検討を行っていく



【大詰めを迎えた水防災事業】

# 緊急質問

河野 學

【問】世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされ、目に見えない戦いが始まっている。本町でウイルス感染者が発生した場合どのように対応し対策するか

【町長】本町におきましては、2月28日に日之影町新型コロナウイルス感染症警戒本部立ち上げ、保健センターと連携して対応する。検査は病院ではできないので、保健所の相談窓口を通して検査し、発生したら県の指定病院で受診、その後県知事が発表する。家族についても、県の指導を受けるという流れになっている。

【問】感染者が出た場合、入院治療の病院は

【町長】県が指定した県立病院になる。

◎緊急質問とは  
質問が緊急を要するとき、その他、真にやむを得ないと認められるときに、議会の同意を得て行う質問のことをいいます。

## 意見交換会

### ■中村公民館

#### 集落周辺のインフラ整備を

【日時】令和2年1月24日(金)  
【場所】中村公民館

今回は、集落常会後の貴重な時間に、意見交換を行なった。事前に課題・要望等の文書を提出頂いていたのでスムーズに進行できた。女性の方の出席も多く内容の濃い意見交換会となった。

#### 【主な内容】

- ・町道丹助線の舗装の継続
- ・商工会と中村間の道路整備
- ・空き家・移住対策の現状
- ・通学路の安全対策
- ・「道の駅」の手数料について
- ・町立病院のありかたと医師の確保
- ・宮崎部品跡地の利活用
- ・人手不足と山林の管理等
- ・その他、多くの意見を頂きました。有難うございました。



【中村公民館】

### ■平清水公民館

#### 免許返納者へわかりやすい説明を

【日時】令和2年2月25日(火)  
【場所】平清水公民館

今回は、平清水・小菅・戸川集落の皆さんと一同に会し意見交換会を行なった。集落ごとの様々な課題について時間が足りないくらい多くの意見が出された。

#### 【主な内容】

- ・集落内町道の改良・舗装と県道見立線の整備について
- ・新型コロナウイルス対策について
- ・公民館営繕の補助率アップができないか
- ・和牛繁殖農家の堆肥処理について
- ・高齢化による農地の維持管理について
- ・老人福祉の充実について
- ・鳥獣害対策の金網設置の継続について
- ・八戸小学校と宮崎部品跡地の有効利用について
- ・等、高齢化が進む集落の問題や要望を聞くことができました。有難うございました。



【平清水公民館】



## ■農業委員会

【日時】 令和2年1月27日(月)

【場所】 保健センター会議室

今回で二回目となる農業委員会委員との意見交換会を行った。委員会より提出された三つの課題、

1、未婚者対策について  
2、高齢化により農地管理が困難になった場合の対策について

3、若者流出による後継者対策については主なテーマとし、重要な課題と捉え様々な意見が出された。未婚者対策については、年代別の婚活の実施や農家を対象とした婚活サークル等の課題が出された。

高齢化による農地の管理については、耕作放棄地の現状や畜産農家の育成、堆肥処理の場所がない等の意見が出た。

後継者対策については、企業誘致による職場の確保や厳しい農家経営の現状が大きな原因であり、更には、受委託作業の大型農機の搬入ができない農地への農道整備が必要等の意見も出た。議会としても多様な問題に対し課題解決に向け取り組んでまいります。

## ■第2回日之影町議会報告会

【日時】 令和2年2月7日(金)

【場所】 議会議場

【日時】 令和2年2月10日(月)

【場所】 保健センター会議室

第2回日之影町議会報告会を2日間にわたり開催致しました。2回目となる議会報告会は、昨年より内容の充実した意見が出て、少しずつではありますが町民の皆様の理解が得られたと感じた。

### 【主な内容】

- ・サルによる飼料作物、シイタケ等の被害状況と五ヶ瀬川のカワウ対策について
- ・道の駅の整備について
- ・足湯の設置と手数料の見直し及び出店者協議会の設置(有機農法研究会等)
- ・観光協会・行政・町民・議会との連携強化
- ・各検討委員会のあり方と委員の対応について
- ・役場跡地の有効利用とコンサルのあり方

- ・町民に対する病院経営の詳細な説明と受診後の待ち時間について
- ・新庁舎建設の進捗状況について
- ・県道日之影〜上長川線の整備について
- ・福祉に対する行政の施策と議会の対応は
- ・森林環境譲与税の基金の活用について
- ・青年部・商工会青年部・S・A・P・J・A青年部の活動に対する支援強化について
- ・幼稚園・保育所等幼児・児童に対して行政支援の強化をしてほしい
- ・カラオケ等のサークル活動の強化
- 等、貴重な提言・要望を聞くことができました。

有難うございました。



【議場での議会報告会の様子】

## ■庁舎建設特別委員会

【日時】 令和2年3月13日(金)

【場所】 新庁舎建設現場

### 【調査事項】

- ・進捗状況と現場視察
- 第8回庁舎建設特別委員会を開催し、現地調査を行った。施工業者より工事の施工状況やコロナウイルスの影響等、工期内の進捗状況等については問題なく予定どおりである。

今後、8月頃には庁舎全体のコンクリート打設が終わり、庁舎の姿が見れる予定である。

## ■議会傍聴のご案内

3月の定例会はコロナウイルス感染防止のため、町民の皆様には議会傍聴にご配慮いただきありがとうございました。

次回の定例会は6月に開催されます。皆様の傍聴をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。その他議会に対するご意見等もお聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 Tel87-3908

# 表紙者紹介

甲斐 治さん (79歳) ・ トミ子さん (73歳) 夫婦

**問** 長年農業に従事されていますが、主な生産品目は何ですか。

**答** ブロッコリー、白菜、キャベツ、ナス、いちごを生産しています。

**問** 美味しい作物を作るために、工夫している事はなんですか。

**答** 冬の時期に年1回天地返しといってトラクターに鋤を付けて土をすき起こすことと、牛糞を霜に打たせ野草と混ぜて堆肥を作っていることです。

**問** 西白杵郡内でいちごの生産をしている方は珍しいと思うのですが、生産者は何名ですか

**答** 西白杵の実数で言うと私を入れて3名です。

**問** ハウスで栽培しているようですが、こういった栽培方法ですか。また、ハウスの広さはどのくらいですか。

**答** 私の栽培方法は無加温栽培で、ハウスの自然な温度管理で栽培しています。そして、ハウスは24Mと28Mの単ポリハウスが2棟です。

**問** 綺麗ないちごが沢山ありますが、工夫は何でしょう。

**答** 毎朝行うハウス内の空気の入替えと、蜜蜂による受粉を行っていることですかね。そして、いちごに日光が満遍なく当たるように、手作業でお日様に向けていることでしょうか。

**問** いちご狩り体験を行っていると聞きましたが、子ども達の反応はどうですか。

**答** 町内外の保育所や小学校からいちご狩り体験の申込みがあり、収穫末期に行っています。子ども達の笑顔に癒され、楽しそうに収穫をする姿に元気をもらっています。そして、写真付きの御礼状は、私たち夫婦の宝物になっています

**問** 今後の日之影町の農業について望むことはありませんか。

**答** いちご生産農家が増えることと、青雲町市が始まる前から道の駅に出店してきましたが、もっと出店者が増えて欲しいことです。

**問** 最後に奥さんに一言お願いします。

**答** これからも、2人仲良く農業を営んで生活していきましょう。



【いちご狩り体験の様子】

## 編集後記

新緑の美しい季節になりました。第1回定例会は、令和2年度の予算が示され、原案通り可決しました。新型コロナウイルスが世界で猛威を振り、県内でも感染者が出たことにより、議会ではコロナウイルスの対策についての緊急質問が十数年ぶりに行われました。被害は甚大であり、感染が早く終息し、この「議会だより」が届く頃にはいつもの生活に戻っていることを願っています。

工藤 英信

発行責任者

議長 甲斐 徳仁

議会報編集委員

委員長 一水 輝明

副委員長 高館 英嗣

委員 工藤 英信

委員 小谷 幸治

委員 小川 輝久